

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第39号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行 東北風景写真家協会 〒980-0852 仙台市宮城野区榴岡3-8-15 東北カラーデュープ株式会社内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 編集 阿部・丸山



撮影準備中です



月とレーダードーム

山中湖からの神秘的祈りながら。間もなく姿を見せていました。なダイヤモンド富士と撮影ポイントの長池親水公園に直行です。朝焼けの富士山等を狙った2月6日から2泊3日の富士山撮影ツアー見られるか気になりながら、期待を込めて竹に14名が参加。東北道通過中は一面内先生のご案内で撮影食べきれない方も続の青空で冠雪の吾妻小ポイントを設定。各自出。大満足でした。富士がきれいに見え三脚とカメラの設定を朝霧高原。ここでもた。山中湖畔には4時再確認、その瞬間を待快晴、原っぱに寝転頃到着予定だ。時間調ちました。もたまたしで撮影する方も。整で富士吉田道の駅にいてると撮影チャンス「休暇村 富士」で寄った。ここからは富を逃してしまします。二日目のホテルは士山頂がよく見える。しかし、予定時刻になす。カメラを手に部屋今は雲が山頂を隠してつても山頂を覆った雲の中から、出ていくいる。以前に富士山頂は晴れません。結局次れた田貫湖の富士山にで気象観測を行っていた。翌日は山中湖で早朝ご挨拶です。レーダードームがここに運ばれて展示され撮影です。ホテルをスライド上映会では富士山頂を狙いシャッタ夜明けの富士・朝焼け翌朝の撮影ポイントも1を切った。山頂の雲の富士を狙い昨日と同じ場所へ懐中電灯で照らしながらのチャレンジでした。

**忍野八海** 朝食後、ホテルを出発。途中、山中湖平野湖畔から真冬の澄んだ空気の中で各々アングルを考えて撮影。昨日は雲が邪魔でしたが、忍野八海は全く雪も雲もなく快晴という贅沢な悩みだった。しかし透き通った空気の富士山は最高の

**遅めの昼食は、「富士緑の休暇村」**で。ここでびつくりポン！ホテルでの夕食かと思うほど、超豪華な昼食で朝霧高原。ここでも快晴、原っぱに寝転んで撮影する方も。二日目のホテルは「休暇村 富士」で。カメラを手に部屋からは、予定時刻になす。カメラを手に部屋今は雲が山頂を隠してつても山頂を覆った雲の中から、出ていくいる。以前に富士山頂は晴れません。結局次れた田貫湖の富士山にで気象観測を行っていた。翌日は山中湖で早朝ご挨拶です。レーダードームがここに運ばれて展示され撮影です。ホテルをスライド上映会では富士山頂を狙いシャッタ夜明けの富士・朝焼け翌朝の撮影ポイントも1を切った。山頂の雲の富士を狙い昨日と同じ場所へ懐中電灯で照らしながらのチャレンジでした。

## ダイヤモンド富士撮影ツアー

**3日間の講評。** 天気が良すぎて、きれいな写真は撮れるが・・・(阿部和之記)

**星空撮影、ベランダから思い思いに三脚を準備。** 午後8時過ぎからスタート。午前3時頃までのつわものも。早朝撮影、東の空から昇る朝日。この光と色彩をいかに料理するかが皆さんの腕の見せ所だ。勉強会が楽しかったです。

**第11回定期総会報告** 去る1月22日(日)第11回定期総会を仙台市戦災復興記念館で開催しました。総会開催前に清水哲郎先生をお招きし、スライド&トークショーを開催しました。(下記に要約を掲載)総会では提出された議案すべてが承認され、無事終了いたしました。総会及びセミナーのいづれにも参加できなかった会員の方には、当日配布した総会資料をメール便にて送付致しました。

**【議事】**  
① 28年度事業報告  
② 28年度収支報告  
③ 会計監査報告  
④ 29年度事業計画案  
⑤ 29年度収支計画案  
⑥ 役員交代  
⑦ その他  
以上の議事を討議し賛成多数により承認されました。

総会は岡部幹事の司会にて開会宣言。竹内会長から、ご挨拶を頂きました。  
3月開催予定の役員幹事会にて幹事長の選任をすることとした。また幹事業務分散のため新幹事の選任も報告された。その後、懇親会場へ移動し和やかな総会を終了した。

清水哲郎先生のスライド&トークセミナー「写真の組み方とタイトルのつけ方」

**お知らせ**  
新幹事のご紹介です。今年度より新しく「高瀬英雄さん」が幹事に就任いたしました。これからの活躍を期待ください

総会に先立ち開かれたセミナーは満員の盛況となった。清水先生は太平洋写真学校や震災後の北上支援に活躍されており、また4年前にも「フィルムとデジタルによる風景写真」について伺っている。お知り合いの方も多く、なごやかな雰囲気の中でセミナーは進行した。

清水哲郎先生のスライド&トークセミナー「写真の組み方とタイトルのつけ方」

**写真の組み方**  
組み写真については多くの方が漠然としたイメージは持ちつつも実際に体験された方は少ない。完成された一枚の写真で伝えるのとどう違う、どう組み立てていくのか？構成の妙とイメージの広がりについて伺った。先生がアサヒカメラ、風景写真、その他の多くの審査を担当されてきた体験も含めてのお話は興味深い。

**極寒のモンゴル**  
長年モンゴルの取材を続けられ、昨年12月にモンゴルの北部1100kmの極寒の地での貴重なスライドを拝見した。日の出前の青い時間帯から赤みがかかる時間帯まで、気温は-30~-40℃にも下がる。カメラは正常に作用するがバッテリーの交換が大変で、軽い凍傷にかかったという。最近写真集「New Type」を出版し、新しくなったモンゴル社会を表している。

清水哲郎先生のスライド&トークセミナー「写真の組み方とタイトルのつけ方」

**写真の組み方**  
今日のセミナーが生きてくるであろう。(秋葉健一記)

**写真の組み方**  
組む写真は通常2〜6枚が多く、枚数ごとの組み合わせのパターン、大きさ、縦横、配列、視線などいくつかの構成要素を示される。例えば5枚組で起承転結を考えてストーリーを展開しようとする。

清水哲郎先生のスライド&トークセミナー「写真の組み方とタイトルのつけ方」

**写真コンテスト 上位入選者**  
今回は入賞報告がありませんでした。各種コンテスト、写真雑誌掲載コンテスト等で入賞された方は事務局までご連絡下さい。当協会掲載基準にて記事として掲載いたします。

**★新規入会会員 紹介**  
宮城県仙台市 山岸 旬子  
宮城県仙台市 大友 紀夫  
宮城県仙台市 佐藤 圭司  
宮城県名取市 内生 宏嗣

**★平成29年度年会費のお支払いのお願い**  
協会の各種企画事業や「東風季報」の作成、発行、郵送等は皆様の年会費にて運営しております。新年度年会費(3000円)未納の方は、左記口座宛至急お振込み下さい。振込手数料はご負担お願いいたします。  
● ゆうちょ銀行 181901  
● 七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 5272599  
● 東北風景写真家協会  
● トウホクフウケイ 1438888  
● シヤシヤンカキョウカイ

# 八木山動物公園へのお誘い

## 大滝 善嗣

▼先日、久しぶりに動物園の撮影に誘われ行ってまいりました。

動物園の思い出は、私事になりますが、独身時代遊ぶ処も何も知らない生真面目な初心なとき、最初のデートに誘ったのが動物園でした。

▼遠いとおい昔のこと、何がどのような動物がいたのか、はたまた見たのか、老年の今は記憶になく、記憶にあるのは、ただ動物園の帰り道は仙台駅まで二人で歩いて帰宅したこと。その道は遠くなかったことでした。

▼友人に誘われ、久しぶりの動物園に期待！。昔の面影を少し残しているけれど改修されたアプローチ獣舎等、大きく様変わりし、現在の動物園は交通機関も整い、仙台市地下鉄・バスと家用車の駐車場は370台と多

く確保されています。

▼又、動物の個体数は(27年度末)哺乳類43種、221点、鳥類47種170点、爬虫類34種87点を有しているとのこと。戦いはまだまだ続きます。

▼又、動物園では毎年写真コンクールを行っており、今年7月1日から9月30日まで作品を募集しておりますので、是非ご参加の程を！。

▼八木山という名前の通り、少し低地の山に在り、ゆっくり休みながら撮影されれば宜しいかと思えます。ただ見て歩くだけで園内一周約一時間は掛かります。

▼そのような中、心の中で気合をかけるからシャツターを押しながら続けました。動物の顔と名前を記憶させること。これは大変な作業です。



▼帰宅して改めて写真を見てこれは何という名前か？頭の体操よろしくパンフレットと見比べ、体力の消耗と、ため息の出る年を確認した老人の一日でありました。

▼現役の頃から、美術館で絵画を鑑賞したり、博物館等で焼きものを見たりすることが好きでした。三八年の職務の中で歴史博物館に勤務したことも影響しているのかも知れません。焼きものでは、磁器が好きで、県内では、加美郡加美町で焼かれ、江戸時代に隆盛を極めた『切込焼』の青染付や三彩を見て歩いたりしていました。

▼又、動物園では毎年写真コンクールを行っており、今年7月1日から9月30日まで作品を募集しておりますので、是非ご参加の程を！。

# 暮らしの中の表現について

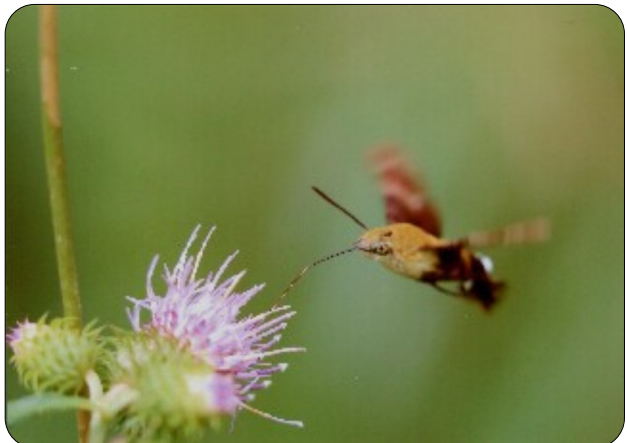
## 大友 紀夫

◆写真表現を自分の生も知れません。

◆定年後、週四日間勤でおられる方々には、務の再任用の職に就いても、写真歴十年、二十年、たことで、精神的にもそれがあるいはそれ以上といふ方が数多くいらつしやると思います。

◆現役の頃から、美術館で絵画を鑑賞したり、博物館等で焼きものを見たりすることが好きでした。三八年の職務の中で歴史博物館に勤務したことも影響しているのかも知れません。焼きものでは、磁器が好きで、県内では、加美郡加美町で焼かれ、江戸時代に隆盛を極めた『切込焼』の青染付や三彩を見て歩いたりしていました。

◆定年後、週四日間勤でおられる方々には、務の再任用の職に就いても、写真歴十年、二十年、たことで、精神的にもそれがあるいはそれ以上といふ方が数多くいらつしやると思います。



は理解

◆定年後、週四日間勤でおられる方々には、務の再任用の職に就いても、写真歴十年、二十年、たことで、精神的にもそれがあるいはそれ以上といふ方が数多くいらつしやると思います。

◆現役の頃から、美術館で絵画を鑑賞したり、博物館等で焼きものを見たりすることが好きでした。三八年の職務の中で歴史博物館に勤務したことも影響しているのかも知れません。焼きものでは、磁器が好きで、県内では、加美郡加美町で焼かれ、江戸時代に隆盛を極めた『切込焼』の青染付や三彩を見て歩いたりしていました。

◆定年後、週四日間勤でおられる方々には、務の再任用の職に就いても、写真歴十年、二十年、たことで、精神的にもそれがあるいはそれ以上といふ方が数多くいらつしやると思います。

# こんな話、あんな話 第三十六話 「趣味と特技」

## これまで「履歴書」と

「趣味と特技」というものを書いた記憶は、数える事ができるくらい少ない。それほどに職歴は単純であった。長い人生の中で幾多の荒波を乗り切ってきた(自分ではそう思っている)はずなのに、転職が少なくと僅か二、三行です。専門分野も多々あったのだが、それを書き込む行はない。「履歴書」とはそんなものかもしれない。採用するほうは応募者がどのような実績を築いてきたかよりも、今後何ができるかが聞きたい。書けるかもしれない。書類で落とされることは辛いものがあるだろう。

さてそんな「履歴書」の記入項目の中で、「趣味・特技」という欄がある。今回はこの部分について考えてみたい。

「趣味は？」とか「特技は何ですか？」と問われると即座に答えられますか？ 私は(たぶん皆さんも同じかな)写真を写すのが好きなので「趣味は写真です」と答えられると思います。写真の世界も奥深く、趣味として自分の好みの写真が撮れば自分なりにニンマリしたり、撮れなければガツカリするやら、反省するやら

「趣味」とは自己評価が決定するものではないでしょうか。「あの人には並ばないと思えます。」「趣味」は同一線上には並ばないと思えます。「趣味」は自己満足の世界であり、「特技」は他人の要望や評価をとりいなければならない事事を考えると、正反対の思考回路かもしれせん。自分の目は甘くて、他人の目は厳しいはず。だから「特技」を維持し続けることは、かなりの努力と研鑽が要求されます。

いま私たちは写真撮影においてその都度試行錯誤しながらシャッターを押ししています。しかも時の流れ以上に早いデジタルの進化に翻弄されながら、悪戦苦闘の毎日です。そして写真講師や多くの先輩諸氏にお尋ねも

「趣味と特技」というものを書いた記憶は、数える事ができるくらい少ない。それほどに職歴は単純であった。長い人生の中で幾多の荒波を乗り切ってきた(自分ではそう思っている)はずなのに、転職が少なくと僅か二、三行です。専門分野も多々あったのだが、それを書き込む行はない。「履歴書」とはそんなものかもしれない。採用するほうは応募者がどのような実績を築いてきたかよりも、今後何ができるかが聞きたい。書けるかもしれない。書類で落とされることは辛いものがあるだろう。

「趣味」から「特技」に昇格させるには、どれほどの失敗を重ねればよいのだろうか。ある本に「努力は積み重ねるから崩れるのだ。だから積み重ねないで広げておけば良い」と、なるほどね。高く積みより、取り出し易く目立つようにね。

写真も失敗作を広げて、努力を評価しながらも反省と対策を見つけて。きつと「特技」に至る経験が「自信」につながるだろう。「趣味」のままで良いか、「特技」に到達させるかの「運命の分れ道」だ。履歴書に「特技は写真撮影」と書きたいものだ。

(二〇一七年三月 丸山慎一)

丸山慎一

編集後記

1面はダイヤモンド富士撮影ツアー紀行と総会・清水哲郎先生のセミナーを掲載しました。

2面記事は大滝善嗣さん、大友紀夫さんに執筆をお願いしまして、快くお引き受けいただきました。丸山副会長は連載です。ご寄稿有り難うございました。

この季報は皆様のご寄稿で作られております。皆様のご寄稿をお待ちしております。

今号は文字を大きく読みやすくのご希望があり、対応してみました。ご感想もお願いいたします。

今号は文字を大きく読みやすくのご希望があり、対応してみました。ご感想もお願いいたします。